

横浜環状北西線「労働安全衛生大会」を開催します！

～工事事故・公衆災害をゼロにするために～

横浜環状北西線は、東名高速道路と第三京浜道路を結ぶ、延長約 7.1 km の自動車専用道路です。現在、東京 2020 オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して、事業を進めており、シールド工事をはじめとして全地区で、工事の最盛期を迎えています。北西線の工事は、安全を最優先に進めており、安全パトロール等、様々な取組を行っているところです。

このたび、更なる安全に対する取組の強化や意識の高揚を図るために、横浜北労働基準監督署及び首都高速道路(株)と連携して、労働安全衛生大会を開催します。

～労働安全衛生大会概要～

- 日時
平成 29 年 11 月 15 日 (水)
午前 9 時 30 分から 11 時 30 分まで (受付開始 午前 9 時 15 分)
- 場所
横浜市歴史博物館 講堂
横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-1-1
- 参加者
北西線工事請負業者 約 150 名
- 主催
横浜北労働基準監督署
首都高速道路株式会社神奈川建設局
横浜市道路局
- 実施内容
 - 安全確保対策 (橋梁上部施工時、墜落防止等)
 - 健康確保対策 (過重労働対策)
 - 建設業における外国人技能実習生の労働災害防止について

※なお、取材していただける場合は、当日、直接会場にお越しください。

お問合せ先

道路局横浜環状北西線建設課 施工管理担当課長 谷津 毅 Tel 045-948-6652